

競 技 注 意 事 項

1. 本大会は、2026年度（公財）日本陸上競技連盟競技規則ならびに競技注意事項により実施する。なお、本大会は広告規定を適用する。
2. 練習について
 - (1)ウォーミングアップやダウンは、サブグラウンドを使用し、団体責任者及び保護者立ち合いのもと行う。室内練習場は、立入禁止とする。
 - (2)メイン競技場での練習は、競技開始20分前（1日目8:40、2日目9:10）まで認める。（会場準備に支障がないように行うこと）
 - (3)投てき練習については、ターン及び助走のみとし、やりは突き刺しのみ認める。（補助者をつけ、安全に十分配慮し行うこと）
3. 招集について
 - (1)招集所は100mスタート地点スタンド後付近招集広場で行う。
*プログラム記載の招集完了時刻までに必ず点呼を受けること。
 - (2)【重要】ホームページ掲載の競技日程は、変更する場合がある。大会当日のプログラム冊子に掲載された競技日程を最新とする。
 - (3)トラック競技に出場する競技者は、招集場所での点呼時に招集係から腰ナンバーを受け取る。返却は、ゴール後に自分で腰ナンバーを外し回収かごに入れる。
 - (4)招集所での点呼後の競技者待機方法は、トラックは競技開始時刻の10分～15分前までに出発地点に集合する。フィールドは練習時間等があるのでプログラムに示された招集完了時刻までに集合し、審判の指示、出場確認を受ける。
4. 競技について
 - (1)事故防止のため短距離走では、ゴール後も自分に割り当てられたレーン（曲走路）を走ること。
 - (2)リレー競技について
 - ①リレーオーダー用紙は当日招集所で受け取ること。
 - ②リレーオーダーは1組の招集完了時刻60分前までに所定の用紙に正確に記入の上、監督がサインし競技者係に1部提出する。
 - ③リレーオーダー用紙は決勝においても同様に提出すること。
 - ④チームの出場者は同系列のユニフォームを着用すること。
 - (3)長距離種目で競技進行上大幅に遅れた選手は審判長の権限でレースを中止させることがある。
 - (4)競技終了後は、審判の指示により速やかに退場する。
5. 用器具について
 - (1)競技に使用する用器具は、すべて主催者が用意したものを使わなければ

ならない。

(2) 跳躍、投てき競技の助走に使用するマークは主催者が用意する。

6. 競技用スパイクピン・シューズ底の厚さについて

(1) 本競技場は全天候舗装であり、スパイクピンの長さは9mm以下とする。
走高跳・やり投は12mm以下とする。

(2) シューズ底の厚さについては、競技規則の競技用靴規程 TR5.2を適用する。(砲丸投、円盤投、ハンマー投を除く)

7. その他

(1) 記録速報掲示は行わない。沖縄陸上競技協会ホームページに掲載し、当日QRコードを案内する。

(2) 団体での控え場所は芝スタンドとする。

(3) スタンド下通路及び雨天練習場付近の選手控場所設置は禁止する。

(4) 競技場(練習場も含む)に商社名、商品名のついたものを持ち込むことはできない。詳細は「競技会における広告及び展示物に関する規定」に準じる。
※広告規定に反する文字等は各自でテープを貼るなどし、露出しないようにすること。

(5) 記録の証明を希望する競技者は、記録情報室に300円を添えて申出をし、60分後に受け取ること。

(6) 抗議申立書は競技規則 TR 8 (国内競技会) によって総務に提出する。

(7) 競技場内での写真・撮影は、許可された報道カメラマンのみとする。

(8) 競技会場内で撮影された競技写真及び動画の著作権については、大会主催者に帰属するものとする。SNS等に無断で配信する行為は厳禁。法的に訴える場合もある。

(9) 個人情報の本大会活動に利用するものとし、これ以外の目的に利用しない。

(10) 緊急または重要な連絡がある場合は、随時場内放送でアナウンスする。

(11) ゴミは、全て持ち帰る。